

## 第8回 堺市議会 議会報告会 記録

### 1. 開催日時・開催場所・出席者

- (1) 開催日時 平成30年11月17日(土曜) 午後1時から午後3時40分
- (2) 開催場所 第1部：本会議場 第2部：委員会室等
- (3) 参加者 市内在住または在学の高校2～3年生(40名)

### 2. 議会報告会の内容(2部構成)

#### 【第1部 議会報告】

- (1) なぜ選挙権が18歳以上に？
- (2) 投票率が低いとどうなるのか？
- (3) 市議会ってなに？
- (4) 本市の予算と主な施策

#### 【第2部 議員との懇談】

##### (1) 意見交換

議員と高校生が以下のテーマについて自由に意見交換

- ・これからの堺のまちづくりについて  
～このまちを住み続けたいまちにするには？～
- ・これからの堺の観光について  
～若者や外国人が訪れたいのはどんなまち？～

##### (2) 総括発表

- ・各常任委員会テーブルの正副委員長による総括発表

### 3. 出席議員

		議員名
議	長	山口典子
副	議長	芝田一
議会運営委員会	委員長	西村昭三
議会運営委員会	副委員長	宮本恵子

	議 員 名
市 民 人 権 委 員 会	黒 田 征 樹 委員長 平 田 大 士 副委員長 石 本 京 子 池 田 克 史
産 業 環 境 委 員 会	野 里 文 盛 委員長 田 代 優 子 副委員長 西 田 浩 延 井 関 貴 史
建 設 委 員 会	池 尻 秀 樹 委員長 上 村 太 一 副委員長 青 谷 幸 浩 裏 山 正 利
文 教 委 員 会	西 哲 史 委員長 森 田 晃 一 副委員長 信 貴 良 太 水ノ上 成 彰
総 務 財 政 委 員 会	田 淵 和 夫 委員長 淵 上 猛 志 副委員長 伊豆丸 精 二 野 村 友 昭 木 畑 匡 三 宅 達 也
健 康 福 祉 委 員 会	榎 本 幸 子 委員長 的 場 慎 一 副委員長 岡 井 勤 男 池 側 昌
サ ポ ー ト 議 員	西 川 知 己 伊豆丸 精 二 (兼務) 札 場 泰 司 信 貴 良 太 (兼務) 西 田 浩 延 (兼務) 野 村 友 昭 (兼務) 木 畑 匡 (兼務) 三 宅 達 也 (兼務) 城 勝 行

○午後 1 時開会

○山口議長 それでは、皆さんこんにちは。定刻になりましたので、ただいまから堺市議会高校生みらい議会を始めさせていただきます。議長の山口典子と申します。どうぞよろしくお願いたします。

本来、議長は本会議が行われるときには、議長席に座っておりますけれども、きょうは皆さんが主役でありますので、この席で一言御挨拶をさせていただきます。

本日は本当によろこそ堺市議会にお越しくださいませありがとうございます。喜んで来てくださった方、ちょっと手を挙げていただけますか。いきなり済みません。半分しか手が挙がってないというのは後ほどまた理由をお伺いしますが、きっと終わったころには、きょうお越しただいて、来てよかったなと思っていただけると確信しております。

皆さん、堺市議会は来年、堺市の市政 130 年と同様、議会の歴史としても来年 130 年を迎えます。私はその中で第 83 代目の議長を拝命いたしておりますが、皆さんちょっとお伺いしていいでしょうか。この高校生みらい議会を私たち堺市議会としまして初めて企画をしました。ですから、この本会議場の本来は我々が座っている議員席に高校生の皆さんがお座りになるのは、この 130 年の歴史上初でございます。ですから、皆さんちょっとお尻に力を入れて椅子に痕跡を残して帰っていただきたいと思うところではありますが、ちょっと緊張されておりますよね。議員のほうも皆さんちょっと緊張しております。でも、リラックスをして、きょうは楽しく議会のあり方、そして皆さん方がこれから堺を、日本を、また世界を担っていかれるお立場にありますので、いろんなことを正直なところ御意見をおっしゃっていただけたらと思います。ここへ来て成績がつくわけではありませぬので、どうぞ御安心ください。

ちょっとお伺いしたいんですが、この高校生みらい議会を開催するに当たりまして、まずちょっとお礼を申し上げなければなりません、堺には堺市立の高校が 1 つしかありません。1 つだけあります。それ以外は大阪府立高校と私立高校ですので、大阪府の教育庁様、大変お世話になりましたありがとうございます。また本日、生徒さんたちと一緒に、土曜日にもかかわりませぬ、学校園の校長先生や教頭先生、担当の先生方お越しただきまして、ありがとうございます。きょうは堺市の社会教育委員の皆様方も見学にお越しただいておりますが、それくらい初めて堺市議会が開かれた議会として第一歩を進むのに高校生の皆さんに来ていただいたということにチャレンジしているわけでありませぬ。

高校 2 年生の方、ちょっとお手を挙げていただけますか。はい、ありがとうございます。じゃあ高校 3 年生の方、手を挙げていただけますか。はい、受験もう終わりましたか。これからまだ受験やという方、ちょっと手を挙げていただけますか。もう皆さんどっか通ってはるわけですね。すばらしい。よかった。受験やのにこんな大変な時間をとられてと思っても、やっぱり皆さん受験、合格されたから終わってはると思うんですが、おめでとうございます。

では、きょうはゆっくりと議会を楽しんでいただきたいと思います。

さて、堺市議会は議会改革を私たち議員自身が行いまして、何と5年連続、政令市20市の中で日本一議会改革が進んでいるということで、連続5年間日本一を掲げております。まだまだ議会改革を進めなければならないんですけれど、皆さんそういう栄えある堺市議会にお越しいただきました。きょうまた机の上には、このSDGsのうちわとパンフレットを乗せておりますが、皆さんありますか。暑ければ、これでおおいでいただくと。

ちょっとお伺いしますが、SDGsって何か御存じの方、手を挙げてください。1人。学校でまだ習ってないという方、ちょっと手を挙げてください。

これはまたパンフレットを読んで、世界193カ国が世界共通の目標として、よりよい世界、誰ひとり置き去りにしない社会をつくろうということで世界が頑張っている目標で、堺市も実はこの6月にSDGs未来都市に国から選ばれております。そんな堺で学ばれる皆さん、どうぞ堺市議会で、きょうはトークカフェも行われますので、皆さんの御意見をたくさん聞かせていただきたいと思います。

心から歓迎し、お礼を申し上げて、開会の御挨拶とさせていただきます。本日は本当にありがとうございます。（拍手）

○西村議会運営委員長 皆さん、こんにちは。総合司会進行を務めます議会運営委員会委員長の西村昭三でございます。本日はよろしくお願ひ申し上げます。

それでは座って進めさせていただきます。

それでは、本日の進行スケジュールについて説明いたします。

本日の議会報告会は2部構成で実施いたします。第1部は議会報告が約20分、第2部は議員との懇談が約60分、最後に約40分間、総括発表を行います。

まず第1部では、議会報告といたしまして、選挙制度や議会活動に関する情報、高校生の皆さんに比較的身近な市の施策に対する議会活動について、宮本議会運営副委員長より報告いたします。

次に第2部では、10階、12階の5つの会場の12のテーブルに分かれていただき、主に2つのテーマに沿って、参加者の皆様と議員の意見交換を実施いたします。この際の進行は、私から館内放送で行います。

議員との懇談の終了後、休憩を挟んで再度この議場にお集まりいただき、総括発表を行いますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、ここで本日の出席議員を御紹介します。

まず、先ほど御挨拶申し上げました議長の山口典子議員です。

○山口議長 よろしくお願ひします。

○西村議会運営委員長 副議長の芝田一議員です。

○芝田副議長 こんにちは。よろしくお願ひします。

- 西村議会運営委員長 議会運営副委員長の宮本恵子議員です。
- 宮本議会運営副委員長 こんにちは。きょうはよろしく願いいたします。
- 西村議会運営委員長 黒田征樹市民人権委員長です。
- 黒田市民人権委員長 きょうはどうかよろしく願い申し上げます。
- 西村議会運営委員長 平田大士市民人権副委員長です。
- 平田市民人権副委員長 きょう1日よろしく願いいたします。
- 西村議会運営委員長 野里文盛産業環境委員長です。
- 野里産業環境委員長 皆さんこんにちは。ようこそ堺市議会へお越しいただきました。ありがとうございます。
- 西村議会運営委員長 田代優子産業環境副委員長です。
- 田代産業環境副委員長 皆様こんにちは。きょうはよろしく願い申し上げます。
- 西村議会運営委員長 池尻秀樹建設委員長です。
- 池尻建設委員長 皆さんこんにちは。きょうは1日よろしく願いいたします。
- 西村議会運営委員長 上村太一建設副委員長。
- 上村建設副委員長 こんにちは。きょうはよろしく願いいたします。
- 西村議会運営委員長 西哲史文教委員長。
- 西文教委員長 皆さんよろしく願いいたします。
- 西村議会運営委員長 森田晃一文教副委員長。
- 森田文教副委員長 皆さんどうぞよろしく願いいたします。
- 西村議会運営委員長 田渕和夫総務財政委員長。
- 田渕総務財政委員長 皆さんこんにちは。ようこそ堺市議会へ。よろしく願いします。
- 西村議会運営委員長 渕上猛志総務財政副委員長。
- 渕上総務財政副委員長 リラックスして楽しくやりましょう。
- 西村議会運営委員長 榎本幸子健康福祉委員長です。
- 榎本健康福祉委員長 皆さんこんにちは。ようこそ堺市議会へ。本日は1日よろしく願いいたします。
- 西村議会運営委員長 最後に、的場慎一健康福祉副委員長です。
- 的場健康福祉副委員長 皆さんこんにちは。私の息子も高3でありますので、きょうは1日よろしく願いいたします。
- 西村議会運営委員長 そのほか、ただいま御紹介いたしました常任委員会の正副委員長以外にも、本日は多くの議員が参加します。第2部の各テーブルでそれぞれ自己紹介させていただきますので、よろしく願いいたします。

なお、本日は一般傍聴の方及び報道関係の方、また他都市からの議会議員の皆さんもお越しになっておられます。

それでは、第1部、議会報告を始めたいと思います。

宮本議会運営副委員長、よろしくお願い申し上げます。

## 第1部 議会報告

○宮本議会運営副委員長 御紹介いただきました議会運営委員会副委員長の宮本恵子でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、第1部、議会報告をさせていただきたいと思います。20分少々ですので、リラックスしてスクリーン等をごらんいただけたらと思います。

着座にて失礼いたします。

本日は、スクリーンにございます、なぜ選挙権が18歳にということと、また、投票率が低いとどうなるのか、市議会って何、また本市の予算と主な施策ということで、大きく4点にわたってお話をさせていただきます。

それでは初めの、なぜ選挙権が18歳になったのかということなんですが、皆さんはもう当然御存じかと思いますが、いつから選挙で投票ができるか、御存じでしたか。

平成27年、今から3年前に公職選挙法が改正されまして、選挙権年齢が20歳から18歳へ引き下げられました。これは実に70年以上ぶりのことで、日本の民主主義の歴史の中でとても大きな出来事と言えます。本日御参加の皆さんの中には、ことし18歳となって、次の選挙で初めて投票することになる人もいます。

それでは、なぜ選挙権年齢が18歳に引き下げられたのでしょうか。

大きな理由の1つとして、今の日本の少子高齢化があります。少子高齢化が進む日本では、将来の日本に生きていく世代である皆さん方のような18歳、そして19歳も、これからの日本のあり方を決める仕組みである政治に選挙を通して関与できるようにすべきだということで、18歳選挙権が実現したんですね。

これ、国がいろいろ書いてあります。どの国がどういう年齢で投票できるのかということなんですが、この18歳選挙権、世界的に見ると、表にもありますようにアメリカやイギリス、ロシアなど、既に92%の国で18歳からの選挙権が認められているわけなんです。18歳で選挙権があるのは、世界的に見れば標準的なことなんです。

では、皆さん、そもそも選挙ってなぜ必要なんですか。選挙がなかった時代を見れば、占いでリーダーを決めたり、一部の人たちだけが世襲制で独占的に政治をコントロールしたり、こういうことが行われていました。つまり選挙制度がなければ、多くの人々にとって、自分たちの生活にかかわるはずの政治が手の届かない遠い世界の出来事になってしまうのです。選挙というのは、私たちが政治に参加して、そしてその意思を政治に反映させることの

できる最も重要な機会なんですね。

じゃあ、その日本の選挙制度の4原則というのがあるんです。これについて少し説明いたします。

1つは普通選挙、財産や納税のあるなし、性別等にかかわらず、投票する権利や立候補する権利があるという普通選挙。また2つ目には、有権者が行う全ての投票は1人に対して1票しか投じられない、平等に扱われる平等選挙というのが2点目です。次に3点目、誰に投票したのかわからないよう無記名で投票を行う、これは秘密選挙といいます。また最後に、市長や議員など国民の代表者を一般の有権者が選挙で選ぶ直接選挙。以上、4原則であります。

今申しあげましたように、もしこの4原則がなかったらどうなるでしょうか。

例えば秘密選挙でなかったら、Aさんが誰に投票したのかというのがわかってしまうんですね。投票する人たちに圧力がかかって、本当に自分が投票したい人に投票できない可能性が出てきます。また、普通選挙でなければ、例えば納税額、たくさん税金を納めている人しか投票できないことになってしまいます。これでは公平な選挙とは言えないんですね。

これらの原則は決して当たり前のことではなかったんです。

過去からの歴史を見ますと、図にもありますけれども、大正時代の終わりごろまでは税金をたくさん納めた男性でないと投票ができなかった、こういう時代があったんですね。今のよう選挙が日本で実現したのは、昭和20年、第二次世界大戦後のことなのです。今の公正な選挙制度は、長い時間と先人たちの努力によって獲得されたものなんですね。

そして、皆さんその選挙に参加する権利をこの18歳で得ることになりました。じゃあ、なぜ選挙権年齢が引き下げられたのか、そしてその選挙の意味を考えてみれば、選挙権があるのに投票は行かない、投票しない、大切な権利を放棄してしまうことになってしまうんですね。

じゃあ、2つ目の大きいテーマでございしますが、投票率が低いとどうなるのかについて説明をいたします。

最近の日本の選挙では若者の投票率の低下が問題になっている、これは御存じでしょうか。皆さん知っていますか。うなずいていらっしゃいますね。

表がちょっと見にくいんですけど、折れ線グラフ、一番下の赤い線が20代なんです。国会議員の選挙には衆議院議員選挙と参議院議員選挙がありますが、この表は昭和42年から昨年の平成29年までの衆議院議員選挙の年代別の投票率が書かれてあります。どの世代とも投票率は下がりぎみではありますが、特に一番下の線、20代の低下が著しいのが皆様からも見てわかると思います。平成29年、昨年の選挙で見れば、60代の方が72%投票しているのに対して、20代では34%しか投票しておられません。ちなみに18歳と19歳、選挙権ができましたけれども、投票率は40%でした。

この投票率の差を実際の票数に計算してみましょう。世代間の差が非常に大きいことがわかるんですね。なぜなら少子化の影響で、20代はそもそも60代より人口が少ないからです。60代の人口は約1,780万人で、投票率が先ほど申し上げました約72%でしたので、票数からいけば1,280万票ほどが投じられたこととなります。しかし20代では、そもそも人口が1,250万人程度なので、投票率が約34%でしたから、420万票ほどしか投票されていないということに計算上なるんですね。つまり、選挙に関していえば、日本においては20代というのは60代の方の3分の1しか存在していない、投票していないので、存在していないということになるんです。意思表示がされていないということになります。

このように、若者の投票率が低いと、例えば若者の声が政治に届きにくくなって、皆様のような若者に向けた政策が実現しにくくなっていくことも考えられます。そうならないためにも、皆さんにはぜひ投票に行ってくださいと思います。

それでは、ここで皆さんにブレイクタイムということで、クイズにちょっとお答えをいただけたらと思います。三択ですので、リラックスして選んでいただけたらと思います。

問題なんですが、得票数が同じ候補者がいる場合、当選人の決定方法はどやってやるのかということなんですね。例えば5人が当選できる、例えば10人立候補していて5人しか当選できないそのような選挙で、5位の最下位の人と票数が同じ人が2人いたとします。5位、6位とは言いませんが、5位が2人。じゃあ、6人にするわけにはいきませんね。ですので、その同じ票の人をどやってどちらか選ぶのかということのクイズなんです。

1つは決選投票。もう一度、この同じ票数の人をもう一度選挙を行う、これが1番目。後で手挙げていただきますね。2番目は、くじ引きで決める。3つ目は話し合いで決める。

じゃあ、いいですか。どれかに手を挙げていただきたいと思います。

まず、もう1回同じ票数の2人で投票をする、決選投票をすると思われる方、挙手をお願いします。たくさんいらっしゃいますね。結構多いですね。スクリーンに皆さんの顔が映っています。

では、おろしていただいて、2番目のくじ引きで決める。はい、ありがとうございます。少し先ほどよりは少ない感じですかね。ありがとうございます。

では、3つ目の話し合いで決めるは、いらっしゃいますか。お1人いらっしゃいました。ありがとうございます。

これ当たっても、残念ながらきょうは商品がないんですが、申しわけありません。答えを言いたいと思います。さあどうでしょうか。答えは2番なんです。くじ引きです。ちょっと人数少なかったんですが、まさかくじ引きなんかで決めるんではないよなってやっぱり思いますよね。私も知らなかったら、そうだったかもしれません。当選を決定するに当たって各候補者の獲得数が同じ場合は、くじ引きで決めます。



最近の例もあったんですね。2017年、昨年、島根県の飯南町というところの議会選挙で定数10名、10名が当選するという選挙で、第9位の得票数が3人、同じ票数が3名いらっしゃったんですね。くじ引きでこれは2人が当選し、1名が落ちたという形になりました。9位、10位、11位が同じ票数だったんですね。そういうことになりました。

では、クイズ、ブレイクタイムはここで終了させていただきます、次に市議会について御説明をさせていただきます。

この図のように、上が市民ですね。左下、市議会、右が市長というふうになって、それぞれ矢印が出ております。

市では道路や公園をつくって管理をしたり、またごみを処理したりするなど、いろいろな仕事をしています。それらの仕事をどのように進めていくのか、その仕事に必要なお金をどう使うかといったことを84万人の市民の、皆様全員が集まって話し合うことは、とても不可能です。そこで、市民の代表者として、18歳以上の市民による選挙で選ばれた市議会議員が市政について話し合うことになっています。議会はその話し合いが行われる大切なところですね。皆様が今座っていらっしゃる場所ですね。

例えばごみ処理を行う際も、市のお金が使われています。市が持っているお金、つまり市のお財布から幾らこのごみの処理に使うお金を出すのか、このことも市議会での話し合いの場で決められていきます。

スクリーンの図でいいますと、右下の市長から、矢印、赤く点々が入っていますが、議会のほうに提案がされます。市のお金の使い方についてこれでいいですかという提案がなされます。そして市議会が左下ですね、市議会が議決という形で決定をいたします。ごみの処理を例に掲げてわかりやすく、市議会の活動は皆さんにとっても大変身近なことなんですね。

次に、その市議会の活動について説明をさせていただきます。

市議会は年間4回開催されておりまして、2月、5月、8月、11月と定例会が行われます。そして必要な場合には臨時会というものも行われます。

市議会議員みんなが集まって話し合い、市の仕事やお金の使い方などを決める会議を本会議といいます。まさにこの議場が本会議場となります。それとは別に、市議会議員の何人かでグループをつくり、分担して詳しく調べたり話し合ったりする会議を委員会といいます。先ほどいろんな委員会の委員長さん、副委員長さんのお名前が紹介されましたね。6つの委員会が常任委員会といたしまして存在しております。

最後になりますが、堺市の予算と主な施策についてお話をいたします。

市議会では、どのように市のお金を使うかについてお話をさせていただきました。次に、お金についてなんですけれども、まず市は予算を組みます。予算とは、市の1年間の収入と支出に関する計画です。会計とは市のお財布の役目をするもので、堺市では一般会計、特別

会計、企業会計の3種類があります。いろんなことに幅広く使う基本の会計を一般会計といい、そして堺市の平成30年度の当初予算では、今年度ですね、4,184億円となっています。国民健康保険事業など、特定の収入で特定の事業を行う会計を特別会計といい、合計で2,411億円が予算として組まれています。原則として、水道とか下水道の利用料金、皆さんも水を使われたりお手洗いで水を流したりしますね、そういう利用料金などの収益が発生していますが、その収益で運営している事業の会計を企業会計といいます。合計で846億円となっております。

堺市が今年度、特に力を入れている取り組みを次に御紹介いたします。

まず、第2子の保育料の無償化などの子育て・教育について、1,174億円が使われています。これ見ていただいてわかりますかね。教育に、1,174億円。皆様の中学校とか小学校で過ごされた時間に先生がおられたり、さまざまな学校の施設の整備であったり、そういうものをするのがこの子育てや教育費なんです。これが1,174億円。

次に、福祉・保健・医療ですね。これは、がんなどの対策とか、子どもさんがお医者さんにかかったときに負担が少なくて済むように、子ども医療費の助成制度なんかもありますが、こういうようなお金、これが1,307億円使われています。

次に、まちの魅力向上・災害に強いまちについてですけれども、ことしは災害がたくさん起こりましたね。通学路のブロック塀でお子さんが亡くなったりいたしました。この塀の耐震化とか、さまざまな災害に強いまちづくりをするために使われるお金が567億円になります。

そして、文化・観光・産業の発展に使われるお金。堺市は御存じかと思いますが、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録をめざしています。来年の夏に決定いたしますけれども、そのような文化・観光・産業に向けて使われるお金は246億円です。これらは全て市議会での話し合いと賛成の意思決定を経て決められていきます。

では、次に堺市の主な施策2点について御紹介いたします。

1つが学校教育のICT化です。これは既に小学校で実施されている堺スタイルと呼ばれる指導用のタブレットと大型デジタルテレビを組み合わせでデジタル教科書などを活用する整備を今度、中学校において導入するものです。

皆さんは小学校や中学校で大画面を見て授業を行いましたでしょうか。そんなのありましたか。うなずいていただいていますね。でも、中学校ではまだそれがスタートしてなかったんですね。ということで、今年度、中学校においてそれを実施するこの予算がつけられて、30年度中には全公立中学校にタブレット端末と大型テレビを整備する予定となっております。

最後になりますが、2点目、子ども医療費助成制度。先ほど少し申し上げました。

子ども医療費助成制度は、子どもさんが病気やけがで健康保険証を使って病院などにかかったときに、自己負担の一部を国や市の予算で助成する制度です。今は中学校卒業までワン

コイン500円で1回、お医者さんにかかれるんですね。ことし平成30年8月の定例会本会議において、堺市子ども医療費助成条例というのがあるんですが、この条例の一部を改正する条例案が可決をされました。来年、平成31年の4月からは、対象年齢が今は中学校卒業までなんですけれども、来年4月からは高校卒業する18歳の年度末まで拡充されることに決定をいたしました。ここでは残念ながら、高校3年生の人は来年卒業なんですけれども、高校2年生の方は来年4月からワンコインでお医者さんにかかれる対象者となることになりました。

以上2点、皆様に身近な施策を御紹介させていただきました。

最後になりますが、この議会報告させていただきましたけれども、次代を担う皆さんにとって、少しでも選挙や政治、そして行政に関する関心を高めていただくきっかけになれば幸いです。

私たち議員も、きょう御参加の皆さんの未来が希望あるものになるように、また堺市がさらに住みやすく魅力あるまちになるように、しっかりと取り組んでまいる決意でございます。きょうは本当にありがとうございました。

○西村議会運営委員長 宮本副委員長、御苦労さまでした。

それでは、この後、皆様には第2部といたしまして議員との懇談のそれぞれの会場に移動していただきますが、その前に第2部の内容及びルール等について御説明いたします。

2部は議員との意見交換としており、各常任委員会の正副委員長を初め、多くの議員が出席しております。10階、12階の5つの部屋に合計12テーブル用意しております。皆様が移動していただきます部屋とテーブルは御着用の名札の裏面に書いております。

参加者の皆様は、各部屋へ移動後、それぞれのテーブルで各議員と、主に2つのテーマ、これからの堺のまちづくり、もう一つは、これからの堺の観光について意見交換を行っていただきます。

次に、意見交換の進め方についてですが、各テーブルでの意見交換の目安は、1つ目のテーマ、これからの堺のまちづくりについて25分の意見交換を行い、5分間の休憩の後、これからの堺の観光について25分の意見交換を行います。

意見交換終了後は、再度この本会議場にお戻りいただき、各テーブルのファシリテーター役の議員が各テーブルの意見交換のまとめとして総括発表をそれぞれ3分程度で行います。各テーブルでのファシリテーターは各委員会の委員長、副委員長が行いますので、皆様は、その進行に従って意見交換を行っていただきますようお願いいたします。

この意見交換は、参加者の皆様と議員が同じテーブルに座り、近い距離で自由に活発な意見交換ができることを狙いとしております。また、昨年より実施しております発言時のルールといたしまして、各テーブルで御発言をされる方は、必ずテーブルに1つずつ配置しておりますぬいぐるみを持って発言してください。それ以外の方は、発言されている方の御意見

を聞いていただきます。発言が終わった後は、次に発言しようとする方にそのぬいぐるみをお渡しください。

皆様には、1人だけで長時間発言をしない、他の参加者の意見を聞く、他の方の誹謗中傷を行わないなど、ルールを守って意見交換していただきますようお願いいたします。

また、意見交換の中での議員の発言は、議会全体としてのものではございません。あくまで自由な意見交換を狙いとしておりますので、発言の中に議員個人の意見も含まれることがありますので、その点は御了承ください。

なお、スタートの合図やそれぞれの意見交換の残り時間は、私からその都度、館内放送でお伝えいたしますので、各部屋へ入られましたら、館内放送に注意するようにしてください。

本日は議会の会議室ではありますが、飲み物を用意しておりますので、入室前に受け取っていただき、室内でお茶等をとっていただきながら、リラックスした雰囲気の中で議員との懇談を行っていただければと思います。

なお、第2部の開始時間は13時45分から予定しております。

それでは、御自身の名札を御確認いただき、各会場へ移動していただきますようお願いいたします。10分程度で次の委員会を始めたいと思います。

ここは11階ですが、名札のストラップの色が緑の方は10階、もう1階下ですね、10階、青の方は12階、このもう1階上ですね、12階が会場になっております。

それでは、各10階、12階に移動していただきますようお願いいたします。

○午後1時37分休憩

○午後3時1分再開

## 第2部 議員との懇談（総括発表）

○西村議会運営委員長 皆さん、意見交換お疲れさまでございました。何か困った顔した議員もおられましたね。皆さんの質問がきつかったのか、わかりませんが、本当にありがとうございます。

それでは、ただいまより各テーブルごとに総括発表を行います。発表時間は3分とし、時間厳守をお願いいたします。

初めに、黒田市民人権委員長、お願いいたします。

○黒田市民人権委員長 市民人権委員長の黒田です。我々のテーブルのほうでは、さまざまな意見も出していただきまして、まずこれからの堺のまちづくりについて、このまちを住み続けたいまちにするためにはということで、まず堺の魅力って一体何やろうなということを出していただきました。その中で、堺市は古墳のまちであるとか、自然が多いというよ

うな意見もあつたり、あと近くに病院があるから安心ができるとか、ファインプラザ大阪でいろんなフェスティバルとかがあって、そこで人がつながっていくのが堺の魅力じゃないかとか、結構堺は何でもそろってるよねとかいう意見もありました。あと、この市役所が大きいからシンボルっぽくていいよな、みたいなそういうような意見もありました。

今後この堺を住みやすいまちにするために、やっぱり人のつながりとか、人間性を育ていけるようなそういうつながりをつくっていけるようなイベント等企画できたらいいなど。あと、子育てしやすい環境の整備ですね、こういうのも住みやすさにつながるというような意見もありました。あと、駐輪場が意外と少ないので、駐輪場の整備を進めていったらどうかというような御意見もいただきました。

次に、若者が訪れたい観光ということで、これもまずこの堺にあるもの、魅力の部分って何やろうなといったときに、市役所の展望ロビーですね、あと臨海の工場の夜景とか、大仙公園の日本庭園、そういったものがあるんじゃないという意見をいただいて、じゃあ堺に新たに欲しいものって何やろうなというのを話したときに、アミューズメント的な施設が少ないので、そういうのがふえればいいなとか、あと食べ物ですね、観光に行くときにやっぱり食べ物もセットやから、御当地グルメみたいな、堺はこの食べ物みたいなものがあつたほうがいいというような意見がありました。

あと、アニメとか、結構今の若者世代にフィットするようなそういうようなものがあつたらいいんじゃないかなというような御意見もありました。外国人が行きたいようなところとか、外国人が求めるものは、やっぱりWi-Fiの整備ですね、こういったものを積極的に進めていていただきたいなというふうな御意見がありました。

皆さん本当に忙しい中、活発に議論していただいて本当にありがとうございました。

○西村議会運営委員長 次に、平田市民人権副委員長、お願いいたします。

○平田市民人権副委員長 お疲れさまでございます。私のテーブルは、1つ目の題材では、やっぱり堺東の商店街をもっと活気あるものにしていただきたいという意見がありました。銀座通り商店街の1本路地を外れますと、やはり暗がりであつたりそういったところで、やっぱり歩くのにもちょっと怖いかなというお話がありました。やはり若い世代が集えるというか、訪れやすい商店街の場所が非常に少ないと。1つは女の子の意見からは、プリクラを撮りに行きたいけども、ゲームセンター2軒あるけど、ちょっと怖い雰囲気なので寄りにくいとか、若い子にとって寄れる場所が少ないということがありました。

その他の意見としては、自転車の専用レーンの整備をもっとしっかりとしていただきたいということと、あとはやはり高齢者に向けても歩道のバリアフリー化がまだまだできてないんじゃないかという意見もありました。あと公園の中でも、場所によりますけども、木が非常に生い茂っていて、周りが見えにくくて危ないのではないかと、もう少し明るい雰囲気にしたらいんじゃないかという意見もありまして、もう一つ最後は、高校生ならではかなと

いうものですが、全国統一テストみたいなテストをビブリオバトルにしたらいかかということがありました。ビブリオバトル、わからない人はグーグルで調べてください。

二つ目の観光については、先ほど黒田委員長からもありましたけども、Wi-Fiの整備がやはり出てきました。その中では、ポケットWi-Fiの貸し出し等も行ったらどうかという意見もありました。

それと、やはり最近の若い世代ですね、インスタ映えする場所であったりそういう飲食であったりというのが必要なんじゃないかと。例えて挙げられまして、チーズドッグとか、あとは町家カフェなども整備したらどうかというお話もありました。あとは、堺市の観光をするに当たって、ルート地図をしっかりと作成して、回りやすい観光の整備もしたらどうかということでありました。またあとは、ツイッター等のSNSを活用して、人気のツイッターとかをやっている人にリツイートとかしていただくのも取り組んだらどうかということもあります。

あとは、仁徳天皇陵の周りをサイクリングロードとして整備したらどうかかなという話です。これはシマノとタイアップしてしっかり取り組んでいったらいいんじゃないかということでもあります。

最後に、VRを活用して古墳内の体験等また迷路など、ちょっとイベント化してみたらどうかという意見がありました。以上です。

○西村議会運営委員長 次に、野里産業環境委員長、お願いいたします。

○野里産業環境委員長 本日は御苦勞さまでございました。貴重な御意見いただきまして本当にありがとうございます。

これからの堺のまちづくりについてですが、まちづくりでは、ちょっと違うと思うんですが、堺市民として医療費が高校生までワンコインでということで皆さん方関心がありました。その中で、高校を卒業したら、やはり大人だから自己責任で自分の体調管理を行うのが妥当だと考えております。今の施策では満足しているということでもございました。

あと、ボール遊びをする場所がないと、公園がないということで、サッカーなどボール遊びとかしていたら、やはり近隣の皆さん方から叱られるということで、そうになりましたら、やはり家でスマホとか、1人で遊ぶようになってしまうので、やはり外に出て友達と一緒に遊びたい、公園がないということでもございます。

また、泉南のほうから来ていただいた生徒さんなんですが、堺東の駅におりまして、バス停のロータリーがありますが、どのバスに乗っていかかわからないということで、もっと詳しく案内板をやってほしいという御意見でした。

それと、私の住んでいる初芝、萩原天神が食料品とか買い物をする場所が何もないという指摘もいただきましたので、はい頑張りますというようなお答えしておきました。

それから、これからの堺の観光についてですが、堺に観光というのが古墳ぐらいかなとい

うことで、余り皆さん、ぴんとこられなかったとっております。大阪市にはいろいろ遊ぶところがあるんですが、その中で、もっと遊びと歴史を別に分けて古墳の美術館などをもっと充実させていただきたいというお声もありました。

それとかまた、外国人の観光客、古墳とか興味あると思いますが、観光客の方に対してもっと違うアピールをしてはどうかということもありました。それと世界遺産に対して、観覧車もつけてはどうだということもお聞きしまして、1人の学生の方が観覧車やったらどこに行っても乗れるから、余りアピールにならないから、それやったら思い切ってほとんどやらない気球で仁徳陵のほうを観覧してみたらどうかということなんですが、やはり外国の方には気球に乗れるということで堺をアピールできるのではないかとっております。

また、和菓子づくりがおもしろいということで、これも発信がまだなかなかできてないということでございますので、もっとSNSを使って発信させていただきたいということと、また学校のほうで堺の文化に触れる機会をもっと学校の授業で取り入れていただきたいという意見でございました。ありがとうございます。

○西村議会運営委員長 ありがとうございます。次に、田代産業環境副委員長、お願いいたします。

○田代産業環境副委員長 きょうはどうもありがとうございました。初めのこれからの堺のまちづくりについてということなんですけども、一番初めに出たのが、これからはハードよりも少子高齢化も進むので、ソフトをしっかりと、特に教育に力を入れていただきたいということでした。人間に投資をお願いしますということと、堺にわざわざ引っ越ししてきて子育てしたいまちになってもらいたいということで、病児保育をね、こんなことよく知ってはるなと思ったんですけども、病児保育のことももっとアピールすべきではないかということもありました。安心して子育てできる環境、駅前保育とか保育所とか、そういうのも考えてはどうですかというお話もございました。

あと、東西交通のことが少しありまして、やっぱり縦のラインはありますけども、横がなかなかうまくつながっていないということで、そこをもっともっとさらに進めてほしいということもございました。あと、治安がいいのがやっぱりいいということでいろいろ先ほどもありましたけれども、それもまちづくりについてはとても大事なことだと思っております。

次は、観光についてのことなんですけれども、まず古墳のことがあったんですけど、残念なことに古墳の周辺整備がなかなかできてないのではないかと鋭い御指摘もありました。京都なんかは本当にまち全体が輪となって、とてもいい雰囲気だけでも、なかなかそういうところが厳しいのではないかとございます。

あと、インバウンドの取り組みになりますけれども、先ほど教育をソフトにしっかりとということで、しゃべれる人、英語や中国語や韓国語をしゃべれる人ももっともっとふやしてい

くべきではないか、あとバレーボールのブレイザーズのチームを応援している方がいらっしやって、そこももっともっと広めてもらいたいということもございました。

さまざま単発の包丁や自転車、千利休そのほかたくさんあるのに全然情報発信ができてないのではないかと、それが一番の原因ではないかと思いました。

ありがとうございました。よろしく願いいたします。

○西村議会運営委員長 どうもありがとうございます。次に、池尻建設委員長、お願いいたします。

○池尻建設委員長 建設委員長の池尻です。

私のテーブルでは、まちづくりについてでありますけれども、自転車の専用レーンが今できているんでありますけれども、その専用レーンに駐車している車が多いと、それで大変危険なことを見たことがあるということで、その指摘をいただきました。

そしてあと、習い事の手当があればと。子育てのまち塚として、習い事手当をつけていただければ、保護者の方が助かるのになという意見がありました。

そしてあと空き家対策で、9月の台風によって空き家の瓦や壁が飛んできたという怖い思いをしたということで、その空き家対策をどないかしていただきたいという意見もございました。

そして電車の乗りかえについてですが、なかなかちょっと電車の乗りかえがわかりにくいという意見も出ておりました。

そして、先ほど産業環境委員長の野里先生も言うておりましたけれども、私のテーブルでは東区の方が2人いらっしやったんですけれども、やはり東区は商業施設がないので、どないかしていただきたいという意見がありました。

そして観光についてでありますけれども、留学生が来て連れていくにしても塚で思いつくところがないと。やはり案内も少ない、そしてそういった観光のアピールもまだ少ないのではないかとということで、やはり留学生が来ても大阪市内へやっぱり連れていってしまうんですという意見もありました。

それとあと、塚の土産物、やはりもっと観光で栄えていくのであれば、土産物をしっかりともっと充実したもの、塚物産、また包丁のキーホルダーとかそういうものも置いていただければという意見がありました。

それと、これは意見ではないんですが、私、今回聞いた意見の中で、やはり生徒さんから大仙古墳ということが出ました。仁徳天皇陵が塚市のちゃんとした呼称ですよということをお願いしたんですけれども、これは塚市の教育委員会としてもしっかり取り組んでいただきたいと最後に要望申し上げます。以上です。

○西村議会運営委員長 御苦労さま。次に、上村建設副委員長、お願いいたします。

○上村建設副委員長 お疲れさまでした。



まず第1問の議題については、堺の住んでよかったなということで、まずは意見をいただきました。

そこでいただいた意見としては、みんながよく知ってて友達とかもよく知ってる場所があるから、特に私のテーブルの中では西区の方が多かったので、アリオとか、そういう利便性の高いところがあるので、堺に住んでよかったなと。それで、ものを買うにしても、どこに行ってもある程度はあると、コンビニがないわけでもない。そこで、田舎過ぎず都会過ぎないところがいいと。人ごみがたくさんあるわけでもないし、人ごみがないわけでもない、ここが堺のいい点だと。それでいて地域の団結力もあると、そこが堺に住んでよかったなという意見をいただきました。

10年後も堺に住み続けますかということでお聞きしますと、まとめますと、自分たちが結婚してとか、そういった家族を持つようになったときに福祉や教育がしっかりと充実していれば、この堺にずっと住み続けたいという御意見をいただきました。それともう一つこれは利便性のことになるんですけども、高校生は非常に自転車をたくさん使うので、もうちょっと環境をよくしてほしいという御意見をいただきました。

もう一つの議題の観光についてですけども、今度堺は2,000人のホール、堺市民会館が建てかえられて、フェニーチェ堺というのができます。それによって、東の東京では下北沢というところには、たくさん小劇場があって、演劇が非常に活発なまちがあるんですけども、せっかくホールができるのであれば、西の堺がそういう劇団の中心地となって人を呼び込んでほしいという御意見をいただきました。60人や100人のホールであっても、高校生、割と演劇をしてる人もいますし、市がそういうことを主催してくれれば、場所を提供してくれれば、しっかりと集められるので、そういったことをやってほしいと、それで空きビル・空き店舗活用もできるし、周辺の方々の活性化もできるという御意見をいただきました。

それともう1点、包丁やじゅうたんなどせっかくいいものがあるのに、まだまだ知られていないので、もっと堺の伝統産業をアピールしてほしい、それによって活性化が起こるということで御意見をいただきました。以上です。

○西村議会運営委員長 ありがとうございます。次に、西文教委員長、お願いします。

○西文教委員長 ありがとうございます。我々のところでは、まず10年これから先、住み続けたいと思うためには、どうしたらいいかということでいえば、道端にまだまだごみが多いところがあると、特に堺東にごみが多いので、ごみのないきれいなまちにするべきだということも御意見としてありました。

そのほかには、全体的にまず言うと、今の堺の環境は住みよいと、いろんなものもあるし、自然も感じられる、これ南区の方ですが、自然も感じられる部分もあるし、さまざまなものがそれなりに充足をしているというような声があったかと思います。議員側からは、これが

ないと嫌やとかそういうのはないんですかという問いかけもしたんですが、そういう必要があれば難波へ行くと、住んでる環境としては非常に今、充足をしているというようなお答えがあったかと思えます。

あわせて、どちらかといえば、老後とか高齢者の安心があるほうが、これから先、住み続けたいということになるのかなというような意見もあって、個人的には非常に驚きを持って聞いた次第であります。あとは、やはり先ほど来、出ている自転車の走行空間をもう少し良好なものにしていくという話も出ていました。

観光のほうですが、古墳については、やはり古墳の形が見れるように、観覧車なのかどうかは別にして、見れるようにならないとなかなか古墳というのは伝わりにくいですねというお話もありました。また、英語に対応がまだまだできてない部分があるんじゃないかということで、英語に対応できる方も含めてふやしていくことが観光客を呼び込んでいくことにつながっていくんじゃないかという意見もありました。

また、非常に興味深い意見としては、観光はアジアの人はたくさん堺に来るわけですが、遠いところからなかなか来ないということが指摘としてはありました。また、堺の伝統産業とか、刃物や注染等々は堺の市民が全然使っていないと、まずは堺の市民がこういう堺の観光資源をしっかりと大事にしていくことが大事なんじゃないかということもありました。

また、もみじとか四季をしっかりと感じれる場所をつくって、その横におだんご屋さんとかこじやれたものがあれば、こういう外国人の方もたくさん来られるでしょうし、まさに自転車旅行が外国人の方も望まれる部分はあるので、そういうこともしっかりと取り組んでいったらいいんじゃないかという話になりました。京都とかに比べて、まだまだ歩いていておもしろいものがなかなかない。建物等々、景色等々おもしろいものがまだまだないので、これをふやしていくことが観光を呼び込んでいくことじゃないかという御意見がありました。以上です。

○西村議会運営委員長 ありがとうございます。次に、森田文教副委員長、お願いいたします。

○森田文教副委員長 こちらのBテーブルのほうでは4名の方からさまざまな御意見いただきました。ありがとうございます。実はこの4名中3名が堺市以外にお住まいの方で、お1人が堺市民だということで、この議論、話が始まる前はどうしたものかということで不安の声が出てたんですけども、個人的には堺市民じゃないけど、これから堺に住んでみたいという意見もありましたし、このまちは本当に落ちつく雰囲気のあるまちだというそういう好意的な発言もありました。

その中で、まず1つ目のテーマなんですけども、少子高齢化が進んでいっている中で、保育園をどんどんつくってほしいということ、あとマンション内だとか、そういう空間も使って施設をどんどん整備していくべきじゃないかという御意見もありました。

あとは、子育てする場合には、やっぱり憩いの場がもっと必要だという御意見もありまし

て、これからこの若い人たちがこういった先のことまでしっかり考えてくれてるんだという印象も持ちました。

あとは若者らしく、やはりスポーツをする施設が少ないという意見が目立ってまして、例えばサッカー、バスケットボール、そういったものもするところがなくて、夜になると電気がなくてスポーツができないということで、ナイター施設もぜひつくってほしいという意見もありました。あとは、ボール禁止の公園が多いので、そのことについての不満というか、不便さも語っておられました。

あとは、シンガポールに修学旅行に行く前に、この方はインターネットではもちろん調べられるんですけども、情報が逆に多過ぎるので図書館に行ったということなんですけども、その図書館に行ったけども、そこに置いてる本の情報が余りにも古過ぎて、シングリッシュという方言的なものがあると本には書いてあったらしいんですけど、実際行ってみたらもうそんなものは使われていないということで、ちょっと恥ずかしい思いをしたということなので、図書館の本、新しい情報をどんどん入れてほしいということをおっしゃっていただきました。

2つ目のテーマでは、堺東駅がやっぱりにぎわいが少ないということで、その中でスターボックスだとか、そういう名称も出てきました。とにかくにぎやかにしてほしいと。あとは伝統文化でいえば、包丁をもっともっと推すべきじゃないかということで、実際に堺伝統産業会館等あるんですけども、そういった施設を小規模でもいいから、やっぱりこの玄関口につくっていくべきじゃないかということをおっしゃっていただきました。

あと、こういった今回の高校生議会のような若い人の意見をもっと聞いてくれる場所をこれからももっとつくってほしいということでした。あと、ふとん太鼓のPRももっとしたらいいと。最後には、美術館がやはりこの政令市堺市にも必要じゃないかという御意見もいただきました。

本当にきょうは勉強になりました。ありがとうございました。

○西村議会運営委員長 ありがとうございます。次に、田淵総務財政委員長、お願いします。

○田淵総務財政委員長 総務財政の田淵でございます。皆さん、ありがとうございました。

まず、1点目のまちづくりについてのいいところ、自然が多く気持ちが落ちつく、住んでよかったまち、また古墳があることが非常に有意義である、だけれどもPRをしっかりお願いしたい。反面、堺東の商店街の中で、路地裏に入ると怖い、治安の向上をお願いしたい。公園はあるんですけども、遊具が少ない。ほったらかしの公園もある。駅前の特性を考えたときに、もう少しまちづくりを工夫してほしい。また、どのようなまちがキーワードでいいかというと、やはりショッピングセンターが身近にあることが必要である、テーマパークまでと言わないけれども、堺らしいものを新たなスポットをつくってほしい、こんなことがまちづくりでした。

2点目、堺の観光について、まず訪れてよかったところの印象を聞かせてくださいという

ことで、さまざま聞かせていただきました。そういう観点からいくと、堺は茶道の教室があるということ、また昔の歴史文化がいまだに息づいているということ。しかし反面、外国人に優しい多言語の案内表示、サインがあってもいいのではないか。今インスタ映えが物すごくテーマになっているので、新たなスポット等を紹介してほしい。私はカフェが大好きです。しかし、もっとふえればいいですねという意見。堺のいいところはたくさんあるけれども、歴史文化と新しいものもセットでという話でした。

皆で盛り上がったところの1つとしては、高校生の皆さんは、どうもツイッターとか、インスタ映えとか、そういうお話がありまして、どんどんそういう活用しやすい環境をつくってほしいと。それはなぜですかといえば、最終的にはそういう利用をした中でクーポンとかいうものがあって、特典、いわゆる割引ができるような制度、ぜひともこれはつくってほしいと。こうすれば、もっと関心を持っていくのではないかとという意見がございました。

さすが、みらい議会の高校生らしいすばらしい御意見いただきました。ありがとうございました。

○西村議会運営委員長 ありがとうございました。次に、湊上総務財政副委員長、お願いします。

○湊上総務財政副委員長 皆さん、長時間ありがとうございました。

最初のまちづくりのほうの意見交換ですが、正直私は高校生の皆さんと意見交換をするので、もう少し荒唐無稽というか、そんな話になるのかなと想像しておったんですが、いやいや非常に生活者目線の意見が大変多かったことが印象的でした。むしろ議会よりも皆さんのほうが生活に根差した御意見を持ってはるなということをつくづく感じました。

これまでもいろんな方から御意見が出ておりましたけども、とりわけ多かったのは自転車の通行環境の問題ですとかあるいは本屋がまちから減っているという読書環境に関する御指摘あるいは商店街の客引きなど安心・安全にかかわるところの御意見などを頂戴しました。本当どれもこれも貴重で、生かしたいと思います。

また、今後我々、中央図書館の建てかえの議論もありますけれども、他市で市民交流センターなどと複合化された図書館があつてすばらしいんじゃないかというような御意見もあり、今後の議論に役立つものだとということで捉えさせていただきました。

続いて観光についてですけども、ここで印象に残ったのは、やはり情報発信の大事さというのを改めて痛感させられました。

いろいろといい御意見を頂戴いたしました。例えば古墳のグッズがもっとあればいいんじゃないかとか、あるいは古墳カレー、古墳型に御飯をよそってカレーをかけたら、実はこれもあるんですよ。あるいはプロジェクションマッピングがあつたらいいんじゃないですか、これもやってるんですよ。あるいはレンタサイクルをもっとやってほしい、これもやってるんですよ。つまりは、我々がやってる取り組み、行政がやってる取り組みというのは比

較的皆さんと方向性はそんなにずれてない。いい取り組みは実はたくさんやってるんだけど、皆様のもとに情報が伝わってないということのを改めて思い知らされました。しっかりとこの情報発信、我々も頑張らなあかんなと思いました。

1人の学生が、このアグリフェスという農芸高校のイベントの何か名刺大のものをいただきました。すかさずこの機会にと渡してくださったんですけども、こうやって情報発信のタイミングがあれば情報発信するんだという姿勢を持たれている。こういうことは我々議員も職員も学ばねばならんなど、こういう姿勢を学びたいなというふうにつくづく感じさせられました。

あと、個人的に私もいろいろ議会でやってまいりました美術館に対して、ぜひそれはいいんじゃないかという御意見もたくさん頂戴いたしました。美術館ってどうしても我々高齢の方の行くところなんかかなというような気がしなくもないんですが、若い方々が我々以上に非常に文化的な視点を持たれていて、それがまた観光にも生きるんじゃないか、そんな発想をお伝えいただいたことは、これから私たちが議会で議論する中で参考にさせていただきたいと思います。

本日は本当にありがとうございました。

○西村議会運営委員長 次に、榎本健康福祉委員長、お願いいたします。

○榎本健康福祉委員長 私のAテーブルなんですけども、まず堺のまちづくりについてはLGBT等のマイノリティーに配慮したまちづくりということで、東京都のパートナーシップ条例というのは堺にありますかという御質問がございまして、また性暴力被害のケアは進んでいるけれども、その予防はまだまだ堺は進んでいないのではないかと御意見、ごもっともな御意見もございまして、しっかりまた取り組んでいきたいというふうにお答えいたしました。

また、母子家庭の御家庭につきましては、医療費の助成をされているけれども、大学に行っても助成してほしいという御要望もございました。

また、このように市民の声とかあるいは高校生の声を聞く機会というのはどうやって聞いてるんですかという御質問もございまして、さまざまな市会議員も語る会等を開いておりますが、まだまだこういう機会があるんですよということが情報発信されていないということがわかりました。今後ともそういう高校生の声をしっかり聞くという、そういう姿勢が私たち議会も必要かと思いました。

それから次に、堺の観光については、ユニバーサルスタジオとかあるいは難波とか、遊びに行くんだったらそういうところに行くということで、大型なレジャー施設が堺には少ないと、またホテル等も少ないと。ホテルがあれば、その周りを散策したりするというので観光に資するのではないですかという御意見をいただきました。

仁徳天皇御陵につきましては、もう既に御意見いただきましたように、周りが普通の住宅

街で、歴史的にちなんだまちづくり、その京都みたいなそのような風情がなかなかないという事で、そういうまちづくりが大事なんじゃないかという御提言もいただきました。

また、奈良の明日香村とかは行けば観光的なカフェがあったりとか、そういう古墳の周りもさまざまな観光施設があるということで、堺もそういう施設があったほうがいいのではないかと御意見もいただきました。

また、横浜のみなとみらいというふうに、港を利用した観光まちづくりというのも非常に大事であるということで、そういうことも大事ということで、堺も港がありますけど、まだ十分に生かされておられませんので、そういうのを生かしてほしいと御要望もいただきました。

また、先ほども御意見出ておりましたが、治安が堺東について、もっと路地裏入っていくとやっぱり怖いという御意見ございまして、高校生でも安心して遊べるような店舗とかまちづくりをしてほしいと。また、交通の便につきましても、堺浜に映画館があるけれども、ちょっと交通の便が悪いので、天王寺とか難波に行く。そういうもっと連携した、映画館と例えば交通とかあるいは利晶の杜と交通というふうに連携したまちづくりをしてほしいというふうな御意見がございました。

以上、本当にありがとうございました。

○西村議会運営委員長 ありがとうございます。最後に、的場健康福祉副委員長、お願いいたします。

○的場健康福祉副委員長 どうもありがとうございました。私のテーブルのほうでは、まず最初のテーマであります住み続けたいまちにするためにはということで、現在の堺市の現状の認識としてどう感じているのか、お聞きしますと、そもそも若者が遊ぶところが少ないという御意見ありました。あと、全体的に暗い、もう少し明るいまちにしてほしい。ヘルツ数の問題かな、ちょっと電気の問題やと思いますけどね。

何かおかしかったかな、街灯をもう少し明るくしてくれと、こういうことであります。あと、都心的なところと、やっぱりさっきも出てましたけど田舎というか、緑があるところとのバランスがちょうどいいということも御意見出てました。

では、もっと住みやすくするためにはどんな課題があるかというふうにお聞きしますと、やっぱり歩道を広くしたりとか、自転車レーン、これの充実をやっていただくという意見が出てました。あと、線路の高架化ですね、踏切、これの対策をやってもらいたい。

しかし、全体的に今、不便感じていることは特にありませんと、暮らしていくにおいて、なかなかいいまちでありますし、不便は特に感じていない。ということは堺市にこれからも住んでもらえるのかなと聞くと、半分以上がやっぱり外には出ていきたいということがあります。若者らしくていいかなと思います。それは最終的に帰ってきていただけるようなまちへと我々も取り組んでいかなあかんかと、こういうことであります。

観光のほうは、歴史関連をやっぱり伸ばしていく御意見出てます。あと、ゆるキャラどう

なってますかと御意見いただきました。自信を持ってハニワ課長とお答えしたところ、全く聞いたことも見たこともないと、僕の玉砕ぶりはすごかったわけであります。知られてない施策を聞かれて、やってますよと言う行政マンみたいに僕もなっちゃったんですけども、ラインスタンプやったらどうですかって言われまして、やってるみたいですよ、ああそうですか、全く見たことないですよと言われました。こういったゆるキャラを1本に絞ってもっとアピールしていく、こういった突破力も必要なんじゃないか、こういった御意見。あとは京都とか神戸みたいにタワー、堺タワーの建設とか、六本木ヒルズみたいなああいうものも建てていくというのもいいんじゃないかという御意見もいただきました。

最終的に外国人に観光でアピールするには何か、こういった議論になったときに、最終的には人のよさしかないよ、ここで推していくしかないよこういった御意見に、結論に達しました。

以上であります。ありがとうございました。

○西村議会運営委員長 以上で総括発表は終了いたしました。もう全員済みでしたね、抜けてませんね。

本日いただきました皆さんの貴重な御意見を議会の政策に高めていけるよう、我々議員一同真摯に議会での議論を重ねてまいりたいと思います。

それでは長時間になりましたが、最後に芝田副議長より閉会の御挨拶を申し上げます。

芝田副議長、お願いします。

○芝田副議長 堺市議会副議長の芝田一でございます。本日は長時間、本当にありがとうございます。

第2部、議員との懇談では、リラックスして十分に意見交換を楽しんでいただけましたでしょうか。私も12テーブル回らせていただきましたけれども、議員の表情がいつもと違って、本当に若い人の声を真摯に聞こうという議員の姿と、そしてまたなかなかない場面で高校生がしっかりと意見を述べていたことがすごく感動いたしました。あるテーブルでは、ぬいぐるみがそのままになっているという寂しいテーブルもございましたが、なれないことでございますので、またよろしく願いいたします。

堺市の未来を担う高校生の皆様方と意見交換をさせていただく機会をいただき、また若者らしい貴重な御意見を多数頂戴することができました。心から御礼を申し上げます。本日いただいた御意見を今後の市政に反映させるべく、議会において議論を重ねるとともに、開かれた議会に向けて一層尽力してまいります所存でございます。今後とも堺市議会の活動に御理解と御協力を賜りますようお願いを申し上げます。

また、教育委員会の皆さん、また高校生と一緒に来られた引率の方、大変ありがとうございました。この後、閉会後に集合写真の撮影を行いますので、議場の中央にお集まりいただきますようよろしくお願いを申し上げます。

それでは、以上をもちまして第8回堺市議会議会報告会を閉会いたします。ありがとうございました。（拍手）

○午後3時40分閉会